

講師紹介

今回、埼玉県訪問看護ステーション協会が自信を持ってお送りする、今までなかったような精神科訪問看護研修会3日間シリーズを担当してくださる講師のみなさまをご紹介します。

どの講師の先生もその筋では有名な方ばかりをお呼びしており、この方々のお話を聞ける、実践を聞けるのは大変貴重なことです。簡単に講師の先生方の紹介をしますが、この方々が一堂に介するような研修会は埼玉県訪問看護ステーション協会のこの研修会しかないと言っても過言ではありません。

・土呂メンタルクリニック院長

竹林宏先生

元埼玉県立精神医療センター副院長。医師主導の医療ではなく、患者さんに寄り添い、コメディカルとの連携を重んじる精神科医。診断・治療の腕はとて評判が高い。対等な関係で話ができるとても信頼できる医師。コメディカルや多職種の飲み会などにも参加してくれ、飲むとよく笑い、ユニークな先生。

・埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授

森田牧子先生

埼玉県精神科アウトリーチ研究会のメンバーでもあり、精神看護学の頼もしい先生。精神科訪問看護の研究をたくさんされており、地域精神看護学を専門にされている。厳しさの中に優しさが溢れています。埼玉県精神科事例検討会を陰で支えてくれているとても頼りになる先生。

・山形県立保健医療大学精神看護学教授/WRAP ファシリテーター

安保寛明先生

精神科アウトリーチ支援、精神科訪問看護の経験も豊富で、精神科アウトリーチ研究と言えばこの方。日本の精神看護学界を背負う次世代のリーダー。研究実績も豊富。人間の成り立ちや仕組みから心のメカニズムを解明していき、専門雑誌への執筆や著書も多数ある。埼玉県精神科アウトリーチ研究会のメンバーとして精神科訪問看護の書籍出版にも携わる。

・プラスワン訪問看護ステーション佐賀代表/訪問看護ステーションみそら大分・みそら宮古代表/精神科認定看護師/WRAP ファシリテーター

松本和彦

言わずと知れた精神科訪問看護実践の第一人者。精神科訪問看護と言えばこの人！と言っても過言ではなく、この業界ではとても有名な看護師。精神科訪問看護だけではなく、精神科医療全体のことを考え、熱く語る。その行動力もすごく、非常にこだわりぬいた精神科看護実践は多くの実践者のモデルとなること間違いなし。さまざまな研修会や講義などに多数呼ばれている。九州山口精神科アウトリーチ研究会の会長。

・訪問看護ステーション Reaf グループ代表/修士（看護学）/精神科認定看護師/WRAP ファシリテーター

村尾眞治

さまざまな府県に訪問看護ステーション Reaf を展開しているグループの代表。勉強熱心で、精神科医療についてとても熱い想いを持っている。利用者さんとの関わり方は全ての看護師の参考になること間違いなし。「やり方」ではなく「在り方」に強いこだわりを持つ。「精神科医療をぶっこわす」を合言葉に、全国様々などところで活躍している。

・訪問看護ステーションみのり副社長/精神科認定看護師

小瀬古伸幸

精神科訪問看護の業界では超有名人。「精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにはまず読む本（通称横綱本）」や「精神疾患をもつ人への支援で、壁にぶち当たったら読む本（通称壁本）」の著者。精神科訪問看護のかかわり方などのYouTubeなども多数発信しており、言わずと知れた精神科訪問看護の有名人。

講義もわかりやすく面白いと人気者。生の小瀬古さんに会えることは超レア。この機会にぜひ生小瀬古さんを！

・公益社団法人全国保健福祉会連合会（みんなネット）理事長/さいたま市もくせい家族会 岡田久実子
精神障がい者家族会の代表。精神障がいのお子さんを持つご家族として、その経験をもとにご家族の立場として経験したことを伝えている。また、日本の遅れている精神科施策を変えるべく、議員さんや行政にも働きかけており、我々医療者にも苦言を呈してくださる。家族の経験している苦労をリアルに伝えてくれる貴重な存在。埼玉の家族会主導で埼玉に無かった ACT の立ち上げに尽力された。

・訪問看護ステーションけあっぐ管理者/WRAP ファシリテーター/一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会理事/埼玉県精神科アウトリーチ研究会副会長 片山尚貴

埼玉県吉川市で精神科に特化した訪問看護ステーションの管理者さん。今後の埼玉県の訪問看護ステーション協会を担っていく人材。元ラグビー部で、気は優しく力持ち。今年度の埼玉県訪問看護ステーション協会の目玉政策でもある ICT サポート部会の部会長も兼任。

・訪問看護ステーションりすたーと所長/訪問看護ステーションみそら大分・みそら宮古/WRAP ファシリテーター/一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会副会長・理事/埼玉県精神科アウトリーチ研究会会長

藤田茂治

さいたま市北区で精神科に特化した訪問看護ステーションの所長をされている。大阪生まれ大阪育ちの大阪人が、埼玉県の精神科医療を変えるべく埼玉県へ移住し訪問看護ステーションを立ち上げて活動している。この研修会の企画・運営をしている埼玉県訪問看護ステーション協会精神訪問看護専門部会の部会長。WRAP を精神科看護に導入するために尽力をされ、精神科看護師で WRAP と言えばこの人。専門誌への執筆や書籍も多数出版するなど、精神科訪問看護業界の風雲児。筋肉大好きで筋肉フェチ。